

外線番号へのコール転送用のCMEの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[外線番号へのコール転送が失敗する](#)

[ISDN PRIでの障害](#)

[音声変換ルールの設定](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco CallManager Express のコール転送は、ISDN またはセッション開始プロトコル (SIP) で使用される発信者 ID または各種の補足サービスのプロトコルの変更を把握するために特別な設定が必要な場合があります。このドキュメントでは、Cisco Unified CallManager Expressプラットフォームでのコール転送障害の一般的なソリューションについて説明します。

前提条件

要件

Cisco CallManager Express に関する基本的な知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

外線番号へのコール転送が失敗する

call-forward noanコマンドを使用して、ユーザが外部のPSTN番号またはモバイルにコールを転送しようとする、ユーザはダイヤルトーンを受信し、コール転送が失敗します。ただし、同時に、内部番号から同じ外部PSTNまたは携帯番号にコールを発信することもできます。

ISDN PRIでの障害

発信PSTN接続がISDN PRIの場合、電話会社が指定した発信回線ID(CLID)以外の発信回線ID(CLID)を持つ長距離コールが失敗します。コールが転送されると、発信者番号は同じままになり、電話会社では異なる発信者番号を想定しているため、コールの完了が許可されません。これは、コールのリダイレクト元の番号です。この問題を解決するには、トランスレーションルールを設定して、発信コールにANIを強制的に使用するよう設定します。これは、電話会社の期待値である必要があります。

音声変換ルールの設定

発呼側番号を変換するには、[voice translation-rule](#)を使用できます。

グローバルコンフィギュレーションモードでボイストランスレーションルールを作成します。ボイストランスレーションルールの詳細については、「ボイストランスレーションルール」[を参照してください](#)。

```
voice translation-rule 100
  rule 1 /\(^3...\)/ /8282100\1/
!--- This rule changes extensions that match 3000-3999 !--- adds 8282100 as a prefix. Refer to
Voice Translation Rules !--- for more details.
```

```
voice translation-profile 1
  translate calling 100
```

```
ephone-dn 8
  number 3007
  translation-profile outgoing 1
!--- The translation profile needs to be !--- applied to all ephone-dns that can make outbound
calls.
```

これにより、内部の発信者から発信されていない外部のPSTN番号または携帯番号にコールを転送できます。

注： Cisco IOSソフトウェアリリース12.(4)15Tが稼働するCisco CallManager Expressルータがあり、コールパークから別の番号へのリダイレクトに失敗した場合は、Cisco IOSソフトウェアリリース12.(4)9T4にダウングレードする必要があります。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)